

サルモネラ・腸炎ビブリオなど夏に多発する細菌性の食中毒が一段落し、冬から春に起こるウイルス性の食中毒です。ノロウイルス食中毒に関する知識と予防対策をご紹介します。

《ノロウイルス感染症》

(ノロウイルスとは?)

- ・ 1968年にアメリカ合衆国のオハイオ州ノーウォークという町の小学校で集団発生した急性胃腸炎の患者糞便からウイルスが検出され町の名を取り「ノーウォークウイルス」と呼ばれました。
- ・ 1972年に電子顕微鏡下で形態が明らかになり小さく球形をしていることより「小型球形ウイルス」の一種と考えられました。
- ・ 2002年8月、国際ウイルス学会で正式に「ノロウイルス」と命名されました。

(感染経路)

- ・ ほとんどが経口感染で以下の感染形式があると考えられています。
 - 1、汚染された貝類を生もしくは十分に加熱しないで食べた場合。
 - 2、汚染された貝類を調理した器具から他の食品への感染。
 - 3、患者の嘔吐物・糞便からの二次感染。

(日本での発生)

XX
平成10年から平成14年の月別発生状況

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成10年	47	16	16	2	9	1	1	0	0	3	9	19
平成11年	12	17	12	12	5	3	2	2	0	3	10	38
平成12年	70	45	45	13	4	4	3	0	3	3	10	45
平成13年	87	72	25	9	7	5	2	0	1	5	14	42
平成14年	61	62	37	12	9	11	2	1	1	3	13	56

XX
(厚生労働省資料より)

1年を通じて発生はみられますが11月くらいより増加し1～2月にピークになる傾向です。

(海外での発生)

- ・ 世界中に広く分布しています。アメリカ・イギリス・ニュージーランド・オーストラリア・フランス・スペイン・オランダ・アイルランド・スイスなどでヒトへの感染が報告されています。

(臨床症状)

- ・ 乳児から成人まで幅広く感染しますが一般に軽症ですが高齢者や免疫の低下した乳児では死亡例も報告されています。
- ・ 潜伏期間は24～48時間で主症状は嘔吐・下痢・腹痛ですが頭痛・発熱・悪寒などを伴うこともあります。
- ・ 感染しても発症しない場合や軽い風邪のような症状の場合があります。

(検査法)

- ・ 通常、患者の糞便を用いて電子顕微鏡法やRT-PCR法などの遺伝子を検出する方法でウイルスの検出を行います。

検査項目 : ノロウイルス (SRSV) RNA同定
所要日数 : 5日~7日
容器 : 専用管 (凍結)
検査料金 : 23,520円
保険点数 : 未収載

3 アレルギー情報：キャップカーブとは？

アレルギーに関して、臨床に役立つ新しい研究結果

☆☆☆ キャップ カーブ ☆☆☆

<http://www.kml-net.co.jp/topix/allergy.htm>

キャップカーブとは、特異IgE抗体価と症状発現の可能性との関係を示したデータです。食物アレルギーにおいて原因食物の約50%は卵とミルクで、その両方のデータが示されています。

XX
Q: キャップカーブって何？

一般にはProbability Curve (プロバビリティカーブ) と呼ばれています。特異IgE抗体価と症状発現率の関係を示したもので、近年、抗体価を定量的に活用するために生まれた解析結果です。ただしキャップ法による測定値でしか判定することは出来ません。

XX
Q: キャップカーブはどのように見るの？

リーフレット (<http://www.kml-net.co.jp/topix/allergy.htm>) には卵白とミルクのキャップカーブが掲載されています。卵白において、生後半年~1歳の卵白特異IgE抗体価が1UA/mlの場合、アレルギー症状発現の可能性が約60%あることを示しています。

XX
Q: 実際の使用方法は？

年齢が高くなるにしたがって、キャップカーブは右側に移行していきます。すなわち、年齢が高くなると特異IgE抗体価が多少高くても卵摂取可能な例が多くなり、同じ特異IgE抗体価でもより低年齢のほうが症状を起こす可能性が高くなるのです。例えば、卵白の2歳以上では、1UA/ml以下では症状発現率は10%未満ですので、91%以上の確率で卵を摂取しても症状が起こらないと推定でき、ある程度安心して負荷試験による卵摂取が可能かを検査できます。反対に20UA/ml程度と高い場合、90%以上の確率で症状を起こす可能性があるため、負荷試験で確認するまでもなく卵摂取を止めた方が良くと解釈できます。キャップカーブを用いることで日常診療において負荷試験を実施する例が半減したとの報告があります。

XX

Q : 0.35UA/ml未満でも症状を起こす例が見られますか？

キャップカーブにおいて1歳以下の乳児では、0.35UA/ml未満でも20~50%の確率で卵またはミルクの摂取で症状を起こす可能性があることが分かりました。
従って乳児では特異IgE抗体価が低くても注意を要しますので問診や除去/負荷試験などで確認する必要があります。

XX

4 検査項目情報：HBV-DNA定量（TMA法）について

HBV-DNA定量（TMA法）についてお知らせ致します。

■ 特徴
血中のHBVの増殖状態を直接的に反映することから、HBV持続感染の確認およびHBVキャリアにおける病態把握を目的とした経過観察や治療効果の判定に有用です。

■ 測定方法
TMA法（Transcription-mediated amplification and hybridization protection assay）は血清から抽出したHBV-DNAを熱処理により一本鎖DNAにし、2種類の酵素と2種類のプライマーおよび基質を用いて、RNAとDNAの変換を繰り返しながら増幅します。

■ B型肝炎治療の基本方針の原則
HBVキャリアの多くは25歳までに自然経過中に肝炎を起こし、Hbe抗原が消失し、Hbe抗体が出現し、（seroconversion:SC）、その結果ウイルスの増殖停止や低下が生じ、肝炎は沈静化します。治療法の選択に際しては、患者の年齢、ウイルス量、炎症の程度（grede）、繊維化の程度（stage）を評価し、自然経過でSCする可能性が低く、かつ進行性の可能性が高い症例を抗ウイルス療法の対象とします。

検査項目	:	HBV-DNA定量
検体量	:	血清0.3ml
基準値	:	3.7LGE/ml未満
所用日数	:	6日
保険点数	:	340点

※TMAの測定レンジは3.7~8.7 LGE/mlです。
本検査は検出感度以下であってもウイルスの存在を否定するものではありません。

5 医療関連サイトのご紹介

インターネット上には日々更新される多種多様な医療情報・薬剤情報などを掲載しているサイトがたくさんあります。下記にご紹介するサイトなども先生方の情報収集の手段としてご利用されてはいかがでしょうか。サイトによってはメールなどによる情報配信などもあるようです。

http://www.yomiuri.co.jp/iryu/news/ :yomiuri online 読売新聞社
http://www.asahi.com/health/ : asahi.com 朝日新聞社
http://www.gclew.com/ : ジークルー・コム
http://times-net.info/ : times-net 医療タイムス社
http://www.carenet.com/mednews/ : ニュース医新 Care Net
http://www.jiho.co.jp : 株式会社じほう
http://www.m3.com/index.jsp : m3.com So-Net M3

□—————■
リニューアルOPEN!
■—————□

▽
▼
編集
後記
▲
△

2006年1月より京浜予防医学研究所のホームページが新しく生まれ変わりました！
弊社の会社情報や検査情報、またトピックスとして注目の医療情報や項目などを掲載しております。まだまだ整備が必要な部分がございますが、メールニュースをご覧頂いております先生方にはいち早くお知らせをさせて頂きました。
新ホームページには下記URLよりアクセスして頂けます。

<http://www.kml-net.co.jp>

本年も弊社ならびにメールニュースをご愛顧頂きますよう
宜しく御願ひ申し上げます。

□—————■

■□=====

☑ 最後までお読み頂きまして有り難う御座いました。

編集／発行 <http://www.kml-net.co.jp/>
株式会社 京浜予防医学研究所
〒211-0042 神奈川県川崎市中原区下新城1-13-15

=====